

元気な中心市街地づくり促進事業

対象事業

まちなか活性化のモデルとなる、魅力的かつ革新的な事業で、計画の目標指標（①中心市街地の平日昼間（9時～17時）のにぎわい創出、または、②まちなか居住者の増加）の達成に寄与する事業

※単発的なイベントは対象外

対象経費

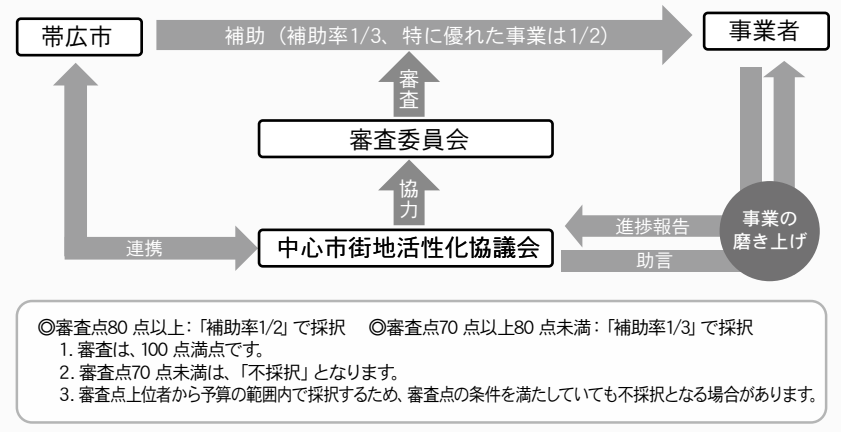
店舗改装費、設計費などの事業開始までに要する費用

※採択される前に事業に着手した部分や、家賃などの事業開始後の運営費などは対象外

補助率

審査点により変動（1/3または1/2）（図2）

図2 補助制度の仕組み



補助限度額

予算の範囲内（最大500万円）で、審査点上位者から補助額を決定

審査基準

主に、事業内容（独自性・先進性・魅力）、事業効果（目標指標の達成への寄与度、波及効果など）、事業の可能性（実現可能性、継続可能性）により審査

申請方法

事前に商業労働課へ相談の上、6月30日（火）までに申請してください。

申請書の様式などは、市ホームページに掲載しています。

帯広市 元気な中心市街地づくり促進事業 **検索**



元気な中心市街地づくり促進事業

魅力とにぎわいにあふれるまちへ

問い合わせ 商業労働課（市庁舎7階、☎65・4164、
 ✉commerce@city.obihoro.hokkaido.jp）

中心市街地の活性化に向けて

市では、公共交通や商業・行政・金融機関などが集積した「まちなか顔」である中心市街地に、さらなる都市機能の集積と、経済活力の向上を促進し、市民の快適な暮らしやにぎわいの創出を図るため、「第3期帯広市中心市街地活性化基本計画」を策定しました。

この計画では、二つの基本的な方針と目標指標を設定し、本年4月から5年間の期間で、計画的に取り組みを進めていきます。（図1）

まちなかをさらに活性化させるために
 市では、中心市街地の活性化を加速させるため、中心市街地で新たな事業を展開する事業者の取り組みを支援する事業を実施します。

図1 第3期中心市街地活性化基本計画の概要

目指す中心市街地の姿 十勝圏の中核都市にふさわしい、魅力とにぎわいにあふれるまち	
基本的な方針1 魅力にあふれ訪れたいくなるまちなかの形成	基本的な方針2 快適に住みたいくなるまちなかの形成
目標1 平日昼間を中心とした来街者を増やす	目標2 まちなか居住者を増やす
目標指標 歩行者通行量（平日昼間9～17時） 1万3756人（H30）⇒1万4800人（R6）	目標指標 まちなか居住者数 2666人（H30.9末）⇒2820人（R6.9末）

柏林台出張所外観イメージ



平成30年度より新築工事を行っていた柏林台出張所が完成し、7月1日（水）から運用を開始します。柏林台出張所は、一般的な建物の1・5倍の耐震性能を有し、停電時においても機能を維持するための非常用発電機を設置していることから、災害時でも消防活動の拠点施設として、地域の安全を確保します。

また、省エネルギー化を推進するため、建物にはLED照明器具や太陽光発電設備を採用しています。

二つの出張所が統合され機能が強化されます
 柏林台出張所として移転する西出張所（西19北1）と、緑ヶ丘出張所（緑ヶ丘東通西1）が統合され、新たに柏林台出張所となります。（図）

柏林台出張所は、市消防団帯広第3・4分団詰所を併設し、消防職団員や消防車両を集結させ、消防活動の充実と、各種災害への初動体制を強化します。

西出張所、緑ヶ丘出張所は、柏林台出張所の運用開始に伴い業務を終了し、閉所します。

柏林台出張所がスタート

問い合わせ とかち広域消防局消防救助課（西6南6、消防庁舎3階、☎26・9122）

帯広消防署 柏林台出張所が完成

7月1日（水）から、運用開始

新たな消防出張所の完成により、地域の安全確保が強化されます。

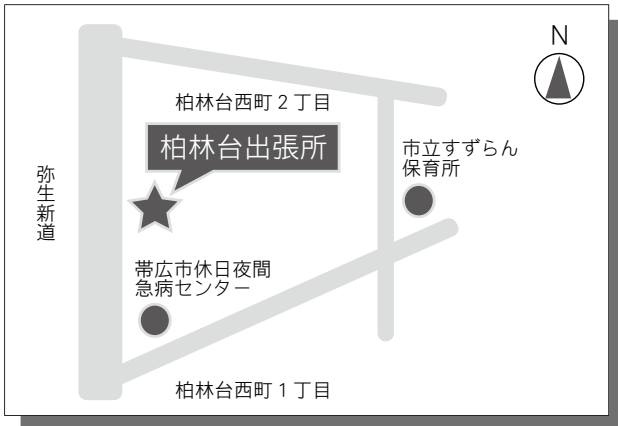
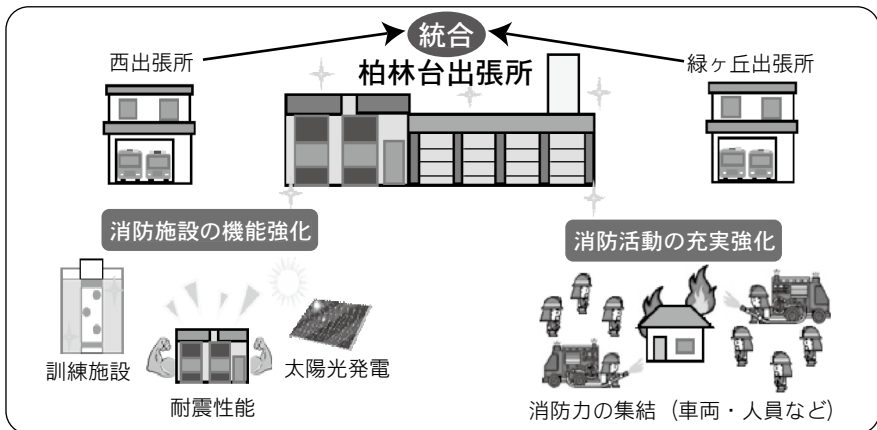


図 出張所の統合イメージ



救命講習の様子

訓練や研修のための施設も充実
 消防職団員の訓練研修のため、西出張所の約2倍の敷地面積を確保し、敷地内に鉄骨製の訓練施設を併設しています。

さらに研修室も備えているため、市民の皆さんが参加できる救命講習や、防火・防災訓練の実施を予定しています。